

岐阜県立土岐商業高等学校

学 校 長 林 宏 一 郎
 学校所在地 土岐市土岐津町土岐口1259-1
 電 話 0572-54-1291

1 会議の名称 岐阜県立土岐商業高等学校評議員の会（第1回）

2 会議の構成（敬称略／50音順）

委員	安藤 裕美	土岐地区更生保護女性会理事
	犬塚 和代	元土岐商業高校育友会役員
	黒田 孝二	東海旅客鉄道（株） 土岐市駅長
	中村 達男	同上
	砂場 研司	土岐市土岐口財産区議長
	竹下 啓太	名古屋工学院専門学校メディア学部部長

学校側	校 長	林 宏一郎
	教 頭	花 田 耕 司
	事 務 長	中 野 善 孝
	教 務 主 任	林 勇 二
	生徒指導主事	澤 野 敏 勝
	進路指導主事	高 田 昌 史
	教務部 広報	成 瀬 典 子
	（ 記録 ）	野 村 茉 椰

3 会議の目的

学校運営や教育活動等について地域の有識者や関係機関・団体等の代表者から幅広く意見を聞き、地域社会からの支援・協力を得て、開かれた特色ある学校づくりを推進し、生徒の健やかな成長を図る。

4 会議の開催 日 時 平成26年6月26日(木) 13:30 ～ 15:30

場 所 土岐商業高等学校校長室

出席者 委員5名 次期委員（予定）1名 学校側8名 計14名が参加

* 学校長の挨拶、自己紹介後、5限目の授業参観を実施した。その後、本校の教育についての説明をし、意見交換を行った。

5 会議の概要

テーマ（1）本校の教育について（平成26年度教育の重点）

各分掌（教務部、生徒指導部、進路指導部）より学校運営についての説明を行った。その主な内容は下記の通りである。

（1）教務部

- ①方針
 - ・基礎的・基本的な学力の定着
 - ・積極的な広報活動の展開
 - ・特色ある学校・学科作りの推進
 - ・校務の効率化と情報の共有化
- ②重点
 - ・家庭学習の習慣化
 - ・本時の目標の提示
 - ・学校目標を軸とした生徒目標の設定
 - ・中学生とその保護者に対する説明会の開催
- ③各種検定・資格取得の状況について

（2）生徒指導部

- ①方針
 - ・各学年団との連携強化による全校職員での指導体勢の強化
 - ・生徒の変化を見逃さず、“プラス一言”の声かけ指導の推進展開
 - ・各教科における「授業中での生徒指導」の再点検と工夫
- ②重点
 - ・交通安全指導の推進
 - ・教育相談の充実と全職員による生徒理解の深化
 - ・生徒の規範意識の高揚と問題行動の未然防止
- ③生徒指導部の活動の紹介
- ④部活動成績紹介

（3）進路指導部

- ①方針
 - ・生徒一人一人が主体的に進路を決定できる能力や態度の育成
 - ・「キャリア教育」の充実を図り、学校生活（活動）を通じた資質向上
- ②重点
 - ・土岐商WEP（インターンシップ）の充実
 - ・ハローワークと連携した学校内企業説明会
 - ・難関な企業や公務員、大学などの受験に関する奨励、支援
 - ・朝の小テストや面接練習の実施
 - ・早期離職の原因でもある異年齢の方々とのコミュニケーション不足への対策
→朝活の実施
- ③平成25年度の進学・就職状況について
 - ・進学の割合が増えている（6割以上）
 - ・進学だけでなく、進学後にもつながる力の育成

テーマ（２）：意見交換・質疑応答

意見１：実地的な授業がなされているということを生徒たちにも気付いてほしい。とってもいい授業を受けられているということを生徒たちに伝えてあげたい。

意見２：本時の目標がとってもいい。生徒が何を分かればいいのかということを知っていることで、かなり飲みこみがよくなるのではないかと感じた。

意見３：これだけ暑い中、クーラーがないにもかかわらず、寝ている生徒がいないのがすごくいいと思った。

意見４：アウトレットの拡張によって、交通量が増加すると考えられる。それに伴った交通事故の増加が懸念される。それに対する対策が必要かもしれない。

意見５：アウトレット近辺に新しい商業施設の建設が予定されていると聞く。それによって雇用が増えるのではないかと。地元の活性化のためにも、そのようなところに働きかけていくといいかもしれない。

意見６：土岐商生は挨拶がいいといろんなところで聞いている。ぜひ、これは続けてやっていただければと思う。

意見７：どこの学校の生徒もそうだが、多治見の駅ではまったく挨拶をしないと報告がある。どこでも誰にでも挨拶ができる子を育ててほしい。また、エスカレーターや階段周辺で集まっている生徒がいる。多治見駅では注意をしても動いてくれない生徒もいるようである。電車を待つ際には並んで待つように指導していただきたい。

意見８：身だしなみもしっかりしていて、明るい生徒が多いという印象を受けた。また、生徒指導の目標や方針が、私たちの会社で作っている目標と同じであった。そのような目標や方針の下で過ごしてきた生徒が私たちの会社に来てくれるのはとても嬉しい。これからもそのような目標や方針で生徒を育ててほしい。

質問１：MSリーダーズの活動を見て、「誰かのためにやっている」という感じではなくて、自分たちで楽しんでやっているという感じで、見ていていいなあと感じた。MSリーダーズというのは生徒会の一環なのか。

回答１：高校所在地域の所轄警察署にそれぞれの学校から、毎年希望者が申し出て「MSリーダーズの証」の交付を受けている。その中に生徒会役員も入っているだけであり、生徒会の活動として行っているわけではない。メンバー全員でMSリーダーズに参加する部もある。規範意識を高めるために、警察と連動した活動や校内で交通安全の活動を行っている。

質問2：通学中、自転車に乗車しながらのイヤホンの使用は許可されているのか。

回答2：許可していない。そのため、使用した生徒に対して指導を行っている。また、東濃地区の生徒は自転車通学に慣れていないため、まずはそのようなルールがあるということを示した上で、反省文や奉仕活動などの指導を行っている。

6 会議のまとめ

評議委員の皆様には、お忙しい中、本校のためにお時間をさいていただき、また建設的なご意見、提言をいただき、ありがとうございました。

挨拶やMSリーダーズの活動について、高い評価を得ることができました。その一方で、指摘していただいたように、自転車や駅でのマナーが定着していないようなので、今後、指導していきたいと考えています。今回、評議委員の方々にいただいたご意見をもとに、本校をよりよい学校になるように努力し、多くの中学生が「進学したい」と思うような学校づくりを推進していきます。